

# 国際規格 (ISO/FDIS 14001) の主な変更点

(株)GICジャパン  
審査部

## 1. 規格の[章]構成を他の規格と統一

章立てを他の規格に合せ第1章から第10章に統一されました。  
他の規格、QMS、ISMS及びOHSAS(改定中)等も第1章から第10章です。

## 2. 環境の変化に対応するEMSの構築と維持

組織の状況の理解とその理解に基づく適用範囲の決定  
組織を取り巻く環境の変化を把握し、組織の環境課題(組織内外の課題)を決定し、その課題を解決する。

## 3. 環境成果の評価と改善

環境目的・目標を見据えてPDCAを回し、組織の環境成果のスパイラルアップを図る。  
リスクに基づく考え方の導入、リスク・機会に対する取組。

## 4. リーダーシップの強化

組織の目的・目標を効率的に達成するための、各階層の管理者の強力なリーダーシップが求められる。

## 5. EMSの柔軟性の向上

組織の要求事項及び文書化(文書・記録)の程度を主体的に決定する。  
組織の主体性をこれまで以上に重視する。

## 6. EMS固有の要求事項の強化

規格の特性(環境)を基盤とし、各要求事項をより有効的に活用し、評価する。

## 7. 利害関係者の特定

関連する利害関係者をより広く(社会、利用者、顧客、協力者等)特定する。

## 8. その他留意事項

関連法規制の範囲、外部委託と順守義務、一時津市以環境側面の範囲等